開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	1016 文学の創造性			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	J102教室				
代表教員	遠藤 朋之				
担当教員	遠藤 朋之				
テーマと到達目標	「詩」という、文芸のなかで特権的なジャンルを、わかりやすく解説する。ネイティブ・アメリカンの詩、日本の詩、そして英語、中国語の詩までを視野に入れる。そのうえで、アメリカ詩史をたどる。欲張りすぎとも思えるが、そうではない。いろんな言語の詩が学べて、それでアメリカ詩の歴史をたどれる、というお得な授業。				
概要	詩にはストーリーがない。だから、並んでいることばからストーリーを自分で作り出すことができる。つまり、散文より自由な文芸なのだ。その実践を、主にアメリカの詩をマテリアルとして行っていく。詩においてはときに、書き手が考えてもいなかったようなストーリーを読者が作り上げてしまうこと、読者がその作品を書いた詩人を凌駕することがある。受講生には、そういった想像力の使い方を知ってもらいたい。授業は、担当者による講義ではなく、学生によるプレゼンテーションで行われる。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	introduction				対面授業
第2回	Native American's poems 1				対面授業
第3回	Native American's poems 2				対面授業
第4回	Anne Bradstreet, "To My Dear and Loving Husband," E. A. Poe, "To Helen"				対面授業
第5回	W. Whitman, "I celebrate myself," "I Hear America Singing"				対面授業
第6回	E. Dickinson, "Because I Could Not Stop for Death"				対面授業
第7回	R. Frost, "Stopping by Wood on a Snowy Evening," "Acquainted with the Night"				対面授業
第8回	W. Stevens, "The Snow Man", "the Thirteen Ways of Looking at a Blackbird"				対面授業
第9回	W. C. Williams, "Spring and All," "The Red Wheelbarrow," "Nantucket"				対面授業
第10回	E. Pound, "The River-Merchant's Wife: A Letter," "The Jewel-Stairs' Grievance"				対面授業
第11回	H. D., "Oread," "Heat"				対面授業
第12回	M. Moore, "Poetry"				対面授業
第13回	T. S. Eliot, "Preludes"				対面授業
第14回	e. e. cummings, "in-Just," "Buffalo Bill's"				対面授業
第15回	授業全体のまとめ				対面授業
成績評価の基準	授業でのプレゼンテーション、学期末のレポート				
履修にあたっての留意事項	授業は初回、第2回は担当者が授業を行うが、そこで詩の読み方、プレゼンテーションの仕方を学んでもらい、それ以降は学生のプレゼンテーション形式で授業は進む。受講者の人数にもよるが、全員にプレゼンテーションをしてもらう予定。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	英語の詩作品を読むので、英和辞典は必携。		
教科書	『アメリカ名詩選』（亀井俊介・川本皓嗣編、岩波文庫）、本書に掲載されていない詩に関しては、アップロードする。書き込みできるように用意しておくこと。	教科書(ISBN)	
参考文献	適宜紹介する。	参考文献(ISBN)	